

きょうのテーマ

WHO どんな仕事?

世界中の健康を守る

なるほど!



スイス・ジュネーブにあるWHO本部。旗のシンボルマークの中心には、ギリシャ神話の医療をつかさどる神・アスクレピオスの蛇が巻き付いたつえが描かれています ©WHO/Jess Hoffman



記者会見で緊急事態を宣言したWHOのテドロス・アダノム事務局長。昨年1月、スイス・ジュネーブで(A.P.共同)

WHOは、世界保健機関のこと。英語のWorld(世界)、Health(健康)、Organization(組織)の頭文字を取った言葉です。世界中の人々が健康に暮らせるようにとの目的で、1948年に発足。現在は194の国が加盟しています。大きな役目の1つが、多くの人が死ぬ恐れのある感染症をなくすことです。新型コロナウイルスでは昨年1月、世界に緊急事態を宣言。流行を収束させるため、何千人もの

この一年、新型コロナウイルス関連のニュースでよく聞く「WHO」。世界の国々が加盟している国際連合の機関の1つです。どんな仕事をしているのでしょうか。

今年1月、中国・武漢市の市場などを視察するWHOの調査団のメンバーたち(共同)



今年1月には、感染が始まったとみられる中国・武漢市にWHOの調査団が入り、動物を通じて人間に広がった可

た。今年1月には、感染が始まったとみられる中国・武漢市にWHOの調査団が入り、動物を通じて人間に広がった可

知ってこ用語

COVAXファシリテーター 新型コロナウイルスのワクチンなどを公平に行き渡らせるため、裕福な国がお金を出し合い、貧しい国にも無料で提供する仕組み。世界の人口の90%以上を占める190の国と地域が参加しています。

能力が高いとの結果を発表。しかし、調べられる場所が制限されていたことなどから、日本やアメリカなど14カ国が3月、調査が不十分だとの共同声明を出しました。貧しい人たちが先住民など弱い立場の人ほど、ワクチン

災害時の医療など 神戸の機関で研究

スイスにあるWHO本部が他国に置いているグローバル研究センターは、世界に2つあります。フランス・リヨンにある国際がん研究機関と、25年前に兵庫県神戸市にオープンした神戸センターです。スタッフは11人。大きな研究テーマが2つあり、1つは高齢化した社会での医療システムの問題です。すべての人が、自分たちが支払える金額で質の高い医療を受けられる社会をつくるには、どんなシステムにしたらよいか。日本では当たり前のように思いますが、世界の多くの国では実現できていません。もう1つは、災害時の健康

や医療を受けにくい状況にあるため、WHO神戸センター(兵庫県神戸市)の所長のサラ・ルイズ・バーバーさんは「新型コロナウイルスの流行では、世界がいかに不公平かが浮き彫りになった。私たち一人一人も、国の政府とともに力を合わせなければなりません」と力を込めます。24日からは年1回の総会がオンラインで開かれます。一日も早く流行を食い止めるため、世界中が知恵を出し合う時です。

管理です。被災した人たちが健康を取り戻すには、どんな支援をしたらよいか、などを研究しています。



クイズには何が入るでしょう? 答えはこの面の右下です

- <1> WHOに加盟しているのは□□の国
- <2> WHO直轄の研究センターは兵庫県□□市にある

都道府県 クリップ



海のように広がる森

山梨県側の富士山の北西に広がる森「青木ヶ原樹海」は、広い森が上から見ると海のように見えることから、「樹海」と呼ばれます。貴重な自然がたくさん残っていて、ウォーキングやネイチャーツアーのスポットとしても人気があります。



山梨県(2)491